

令和元年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	②	学校名	ろう学校
----	---	-----	------

1. 取組名 筒井順慶まつりの参加

2. 活動内容

筒井順慶まつりは、筒井順慶顕彰会が中心になり、筒井地区の活性化や地域のつながりを大切に2000年から毎年開催され今年が19回目になりました。本校生徒会は5年前から参加が始まり、昨年度にひきつづき今年度も、生徒会を中心に積極的に取り組みました。高1から高3の生徒有志13名が、駅前会場案内や、武者行列に参加し、模擬店「タピオカドリンク&わたがし」を出店しました。武者行列には校長先生も甲冑を着て出陣式に参加しました。「水攻め合戦」に参加して勝敗を競うなど、地域の方々と触れ合う楽しさを経験できました。

3. 成果と課題

継続して地域のイベントに参加することにより、学校と地域とのつながりがより一層深まりました。特に高等部1年生は「奈良タイム」の授業の一環として、順慶まつりを通して筒井地区の歴史や文化を学び、模擬店「タピオカドリンク」の出店に向け、主体的な姿勢で話し合い活動ができていました。また、地域の方が何度も学校に足を



運んでくださり、模擬店の準備の手助けをしていただくなど、地域の方々の温かい励ましや声掛けにより、地域と協働する事業の達成感を実感することができました。

生徒の感想では、「参加する前はお客がすくなそうだなと思ったけど、意外とたくさんのお客さんが来てくれて私たちの作ったものを飲んでくれることがうれしかった。来年も参加したい。」「はじめて武者行列に参加したけど、すごく暑かった。でもいい経験になりました。」「タピオカがたくさん売れるか心配だったけど、たくさん売れたので良かったです。いろいろな人と出会いがあったのでよかったです。去年は会場受付やって、天気悪かったからあまり仕事できなかったけど、今年は、模擬店をやってお客さんがたくさん来て楽しかったです。」「来年もしたいです。」など、地域啓発への意識が高まったと感じました。

今後も生徒の受け身的な活動にならないような意識づけと、生徒・教員の負担に配慮しつつ、持続可能な取組として検討を重ねていきたいと思います。

4. 次年度に向けて（担当者の感想を含む）

生徒指導部が中心になって地域との協働推進事業の企画運営に携わってきましたが、教員間で地域との連携意識に差があるように感じます。この事業を継続するには、教員の積極的な姿勢が問われると思えます。生徒会活動への位置づけと各学部と連携をはかりながら、校内での体制を見直し、児童生徒の規範意識の向上につなげていきたいと思えます。